



日米の若いリーダーシップの育成を目指す「TOMODACHI イニシアチブ」教育プログラム

～日米関係の促進に興味を持つ米国への交換留学生(大学学部生)対象～

2018 年度 TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムご案内 及び 第 5 期生募集要項

公益財団法人 米日カウンシル-ジャパンと東京の米国大使館が主導する「TOMODACHI イニシアチブ」は、東日本大震災後の復興支援から生まれ、教育、文化交流、リーダーシップといったプログラムを通して、日米の次世代のリーダーの育成を目指している官民パートナーシップで、日本国政府の支援も受けています。住友商事株式会社はこの取り組みに 2013 年に参画し、一億円の寄付を行い本プログラムをスタートさせました。

本プログラムの対象大学に在籍中で、アメリカの大学へ交換留学をする学部生に対して、渡航費および留学中の生活費の支援として、1 名につき年間 180 万円の奨学金を支給します。また、交換留学中に実施される米州住友商事企画によるニューヨークでの研修、また帰国後は、TOMODACHI イニシアチブが運営するアラムナイ・リーダーシップ・プログラムを通して、日米間関係に深く関わる様々な人々との交流などを通して、次世代のリーダーとしてのスキル向上を支援します。



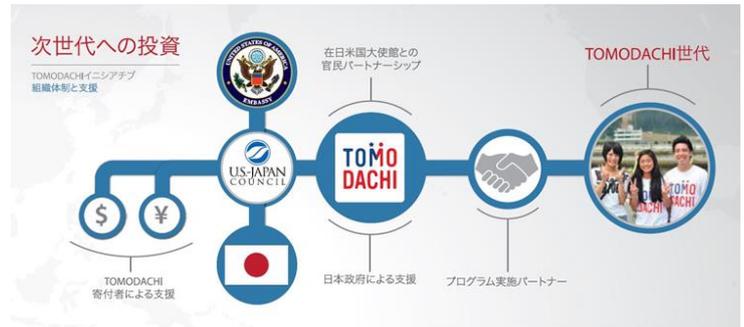
■ TOMODACHI イニシアチブとは

Mission

TOMODACHI イニシアチブとは、東日本大震災後の日本の復興支援から生まれ、教育、文化交流、リーダーシップといったプログラムを通して、日米の次世代のリーダーの育成を目指す官民パートナーシップで、日本国政府の支援も受けています。

Vision

日米関係の強化に深く関わり、互いの文化や国を理解し、より協動的で繁栄した安全な世界への貢献と、そうした世界での成功に必要な、世界中で通用する技能と国際的な視点を備えた日米の若いリーダーである「TOMODACHI 世代」の育成を目指しています。



History

2011年3月11日の東日本大震災の発生を受け、米軍と自衛隊は「トモダチ作戦」を通じて東北地方への緊急人道救援活動で協力し、成功を収めました。この時の協力と友情の精神を基盤に、米国と日本は TOMODACHI イニシアチブを開始しました。TOMODACHI は公益財団法人 **米日カウンシル-ジャパン**と**在日米国大使館**が主導し、日本政府および日米の企業、団体、個人から支援を受けています。

Program

現在、**教育、文化交流、リーダーシップ**を3つの柱として、年間約50本のプログラムを実施しています。また、**TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラム**を通してプログラムの壁を越えて参加者同士が交流を持てるような様々な機会を設け、日本とアメリカの若者たちにインスピレーションを与え、TOMODACHI での経験をさらに一歩進めるサポートも行っています。

□ TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム

「TOMODACHI イニシアチブ」の一環として実施される本プログラムは、住友商事株式会社による1億円の寄付により、アメリカの大学への交換留学をする日本の対象大学の学部生を支援しています。参加者には渡航費および留学中の生活費を支援するため、1名につき年間180万円の奨学金が支給されます。また、交換留学中に実施される米州住友商事によるニューヨークでの研修や TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラムを通して、日米間に関わる様々な人々と交流し、日米関係の促進や世界に貢献できるリーダーになることを目指します。

住友商事株式会社

住友商事は、グローバルに活動している総合商社です。全世界に展開するネットワークとさまざまな産業分野における企業・消費者との信頼関係をベースに、多様な商品・サービスの国内販売、輸出入および三国間取引、国内外における事業投資など、総合力を生かした多角的な事業活動を展開しています。また、住友商事では、次世代人材の育成支援を社会貢献活動の重点分野と位置付け、アジア発展途上国における「住友商事奨学金」による学業支援や、東日本大震災の復興支援に携わる若者を支援する「住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム」などを実施してきました。「TOMODACHI イニシアチブ」を通じて、将来、日米の懸け橋となってグローバルに活躍する多くのリーダーが誕生することを期待し、支援していきます。

2018 年度プログラム

対象者

東北大学、東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学、中央大学、名古屋大学、京都大学、同志社大学、大阪大学、九州大学の交換留学生としてアメリカの大学に留学する学部生

プログラム構成

日米の次世代リーダー育成プログラム



留学奨学金
(180 万円)

【6月/7月頃を予定】

奨学金
授与式・
事前研修
(留学前)

留学への抱負や将来の目標について皆で共有

プログラム参加者が一堂に集まり、米日カウンシル、アメリカ大使館、住友商事株式会社の関係者、同じ世代の TOMODACHI アラムナイとの交流を通して、留学計画や米日関係について意見交換します。事前研修では、リーダーシップスキルをテーマとしたワークショップや帰国学生との交流を通して留学の目的や行動計画を明らかにしていきます。



【8月初旬】

準備金として
45 万円を支給

【9月～5月】

毎月 15 万円
を支給

※奨学金の合計
額は準備金を
含めて 180 万円

【1月～3月を予定】

NY
研修
(留学中)

米州住友商事によるニューヨークでの研修 (1 週間程度)

米州住友商事、米日カウンシル、グローバル企業や政府機関を訪問し、日米関係に携わる若者や各界の第一人者と面談。将来の日米関係に対してどのようにリーダーシップ発揮していくかを考えるきっかけを得ます。



TOMODACHI Alumni Leadership Program

【6月/7月頃を予定】

帰国後
報告会
(留学後)

留学の成果や今後の計画を発表

留学を通して学んだことを将来の日米関係の発展にどのように活かしていくかについて発表します。また、米日カウンシル、アメリカ大使館、住友商事株式会社の関係者、TOMODACHI アラムナイとの交流を通して、今後の活躍の礎となる日米のネットワークを構築します。

プログラム終了後も TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラムへの参加を通し、日米そして世界のリーダーを目指します。

TOMODACHI イニシアチブは年間約 50 のプログラムを実施しており、これまでの参加者は日米合わせて約 5,700 名以上を数えます。TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムを含む TOMODACHI イニシアチブのプログラム参加者(TOMODACHI アラムナイ)は、TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラムを通じて多くの日米の若者と交流を持ち続けながら、日米そして世界のリーダーとして活躍するために必要なスキルを磨くことができます。

第3期生からのメッセージ

(今後の展望について)



阿部 真澄

東北大学
文学部
人文社会学科

カリフォルニア大学
リバーサイド校へ留学

留学先での勉強内容

英語学、教育学に関する授業を履修

卒業論文を作成し学部を卒業後、東北大学大学院に進学し、英語学の研究を続ける予定です。将来は、日本で英語科の高校教師になり、留学経験を活かして、英語の楽しさや、コミュニケーション能力の重要性を伝えていきたいです。



塚田 遼子

中央大学
総合政策学部
国際政策文化学科

イーストネシー州立大学
へ留学

留学先での勉強内容

小児心理学、国際開発に関する授業を履修

留学を通して、小児心理学の奥深さ、虐待やいじめなどに苦しむ子供達の心のケアの大切さを学びました。将来小児カウンセラーとして世界の子供達のために活動するべく、大学院進学を考えています。



徳永 直輝

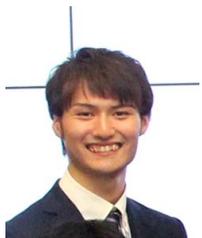
九州大学
工学部
エネルギー科学科

サンノゼ州立大学へ留学

留学先での勉強内容

物理学、工学、統計学に関する授業を履修

原子力・核融合エネルギーに関する分野で研究者になるため、国内の大学院へ進む予定です。当面はこの留学で得た英語力の維持・向上と自分の専攻分野での知識の取得に特に注力していきます。



富田 光彦

九州大学
農学部
生物資源環境学科

ワシントン大学
シアトル校へ留学

留学先での勉強内容

植物生理学、遺伝学、生化学に関する授業を履修

将来は多くの人にインパクトを与えることを最大の目標としています。具体的には基礎研究を通して地球温暖化などの喫緊の課題から人々の生活を守るためにいかに食糧の収量を増やせるかという課題に取り組みたいと考えています。



長江 隆

東京大学
教養学部 教養学科総合
社会科学分科

イリノイ大学
アーバナ・シャンペーン校
へ留学

留学先での勉強内容

国際政治、米国外交政策に関する授業を履修

長年の憧れである外交官として、日米両国のみならず国際社会全体にもポジティブな影響をもたらす日米関係の構築に貢献していきたいと思っています。人生の先輩方のご助力を借りて、広い視野を持ちつつ貪欲に努力します。



萩原 紀子

大阪大学
法学部
法学科

カリフォルニア大学
リバーサイド校へ留学

留学先での勉強内容

政治学、人類学、音楽に関する授業を履修

集団のルールや常識を踏まえた上での“個人”のパワーがとても強かったアメリカ。私も、自由に人生をクリエイトし、常識や枠にとらわれすぎない生き方を体現することで、真の意味の多様性を日本に広めたいです。



早野 映美

同志社大学
商学部
商学科

カリフォルニア大学
サンタバーバラ校へ
留学

留学先での勉強内容

国際教養とコミュニケーションに関する授業を履修

質の高い日本製品を世の中に送り出すことで世界における日本の存在感を高めていきたいです。留学で培ったコミュニケーション能力や失敗を恐れない心を忘れずに、今後も挑戦続けます。



葉山 帆月

早稲田大学
経済学部
国際政治経済学科

ジョージワシントン大学へ
留学

留学先での勉強内容

経済学、ビジネス学、政治学に関する授業を履修

将来は、多国籍企業で日米を中心とした国際ビジネスに関わる仕事がしたいです。特に、ファイナンスの分野でリーダーシップを発揮したいです。また、環境や教育、芸術に関わる活動も続けたいです。



別所 想実

早稲田大学
国際教養学部
国際教養学科

ジョージ・ホプキンス大学
へ留学

留学先での勉強内容

主に政治学、歴史学に関する授業を履修

今回の留学を通じて学ぶことの楽しさを実感しました。将来は専門性を高めるため大学院に進学し、修士号を取得して国際的な企業や組織で働くことができると考えております。



目黒 大地

東北大学
経済学部

カリフォルニア大学
アーバイン校へ留学

留学先での勉強内容

経営学、中国語に関する授業を履修

将来は自分の事業を通して社会に新たな価値を生み出し、ミレニアル世代の代表、アジアの代表として、世界中の人々の生活を今日より少しでも面白く、豊かなものにしていきたいです。

お問い合わせ先

「TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム」事務局

Email: tomodachisumitomo@usjapanCouncil.org

URL: www.tomodachi.org

お問い合わせの際には、在籍大学名、お名前、TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムについての質問である旨を掲題に明記していただけますようお願い申し上げます。

TOMODACHI 住友商事



TOMODACHI イニシアチブについて >> www.tomodachi.org
住友商事について >> <http://www.sumitomocorp.co.jp/>

2018年度の申請要件等の詳細については本紙の募集要項にてご確認ください。また、申請書類の入手方法および申請締切日に関する情報は、在籍大学の国際交流・留学を担当している部署より入手してください。

2018年度 TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム 募集要項（学生向け）

本プログラムが指定する大学が実施するアメリカの大学への交換留学生に内定または決定している大学学部生で、TOMODACHI イニシアチブの趣旨、および本プログラムの目的を理解し、将来、日米関係を通してグローバルに活躍するリーダーになる強い意思がある学生を募集します。

【本プログラムが指定する対象大学】

東北大学、東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学、中央大学、名古屋大学、京都大学、同志社大学、大阪大学、九州大学（対象大学は拡大予定）

【募集内容】

求める人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・本プログラム参加後も日米関係のさらなる発展の為にリーダーシップを発揮し、グローバルに活躍したいという強い希望がある者 ・人物及び学業ともに優秀で、且つアメリカへの交換留学にあたり経済的支援を必要とする者 ・TOMODACHI イニシアチブのプログラムの経験者、あるいは将来参加することを希望している学生との交流の機会に積極的に参加する意思がある者
プログラム内容	<p>本プログラムは、アメリカへの交換留学に参加する学生を対象に日米の次世代リーダーの育成を目的として実施される TOMODACHI イニシアチブの一環として実施されます。参加者は、渡航前の奨学金授与式、アメリカ留学中に米州住友商事により行われる研修、そして留学後の帰国後報告会を通じて、日米関係に関わる人々と交流し、日米関係の発展に求められるリーダーシップを磨きます。また留学後は、TOMODACHI イニシアチブのプログラム参加者を対象に実施される TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラムに積極的に参加をすることが求められます。本プログラムの参加者には、アメリカへの交換留学にかかる渡航費や生活費を支援することを目的とした奨学金が付与されます。</p>
奨学金支給金額	<p>180 万円 ※支給スケジュール(予定)： 8 月初旬に留学準備金として 45 万円を支給し、翌月から翌年 5 月まで月額 15 万円を月初に支給 ※上記に加え、ニューヨークでの研修中にかかる移動費および宿泊費、また留学先大学からニューヨークまでの移動費は米日カウンシル及び住友商事株式会社にて援助</p>
応募要件	<p>以下のすべての条件を満たしている必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本プログラムが指定する大学に在籍している大学学部生であること ・在籍大学の交換留学生として、アメリカの大学に 2018 年 8 月または 9 月から1年間(約 8～10 カ月間)留学することが内定し、かつ単位取得を目的とした留学を計画している者 ・日本国籍又は日本における永住権を保持している者 ・過去連続して 37 ヶ月以上のアメリカ在住・滞在経験がない者 注)6 歳になるまでの滞在経験は含まない 注)過去連続して 13 カ月以上のアメリカ在住・滞在経験がない者が望ましいが、連続する在住・滞在経験が 37 カ月未満の場合は応募可能 ・他の給付型留学奨学金を受けない者(但し、米日カウンシル渡邊利三寄付奨学金については、主催者側の判断によって同時給付を認める場合もある) 注)貸与型の奨学金及び国内の大学に就学するための奨学金であれば、本プログラムとの重複受給は可能 ・在籍大学の学長からの推薦を受けられる者 注)応募書類を在籍大学に提出した学生の中から、在籍大学内での審査を経て、在籍大学の学長による本奨学金プログラムへの推薦者が決定(詳細は本要項の「応募方法及び選考プロセス」参照) <p>※留学先での専攻分野に関しての限定はないが、社会科学関連(ビジネス、法学、国際関係、政治学などを含む)、人文系、理工系であることが望ましい ※学期中に語学コースに在籍する場合は、対象外とする。学期開始前に開催される短期の語学コースへの参加は可能</p>
募集人数	<p>対象大学より約 10 名まで</p>
応募方法及び選考プロセス	<p>アメリカの大学との交換留学プログラムの学内選抜に合格後、以下の手順で応募すること</p> <ol style="list-style-type: none"> 1: 在籍大学の国際交流・留学を担当している部署で募集要項・申請用紙の入手方法を確認する ※ 2: 次項に記載の応募書類を在籍大学の国際交流・留学を担当している部署へ提出する その後、在籍大学による審査を経て、在籍大学の学長による本奨学金プログラムへの推薦者が決定される ※ 3: 事務局による審査を経て、在籍大学を通して合否が通知される(書類審査の過程で必要と判断された場合は、面接が実施される場合もある) <p>※在籍大学への書類提出先及び提出期日は、在籍大学の国際交流・国際教育担当部署に問い合わせること 該当部署が不明な場合は、「本奨学金プログラムに関するお問い合わせ先」に確認すること</p>
合格発表	<p>結果は、4 月下旬までに在籍大学を通じて通知します。</p>

<p>応募書類</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム申請用紙(所定用紙)(※2017年12月中旬頃公開予定) ・以下を盛り込んだ英文エッセイ (自由書式/800～1200単語/各ページにパスポートネーム及びページ数を記載すること) ※エッセイは紙ベースの他に、ワードファイル(.doc または.docx)のデータとして大学に提出 <ul style="list-style-type: none"> ➢ アメリカへの留学を通して達成したいこと ➢ 本奨学金プログラムへの参加を希望する理由 ➢ 自身のリーダーシップ性 ➢ 自身が持つグローバルな視野 ➢ 留学を実現するために打ち勝つ必要がある障壁 (学術的、社会的、金銭的、その他個人的なことなど) ・留学先大学からの受入れ許可書の写し (注)申請時に留学先大学から発行されていない場合は、後日提出が可 ・在籍大学の英文成績証明書 ・TOEFL iBT, TOEFL ITP 又は IELTS の公式スコアレポートの写し (注)オンライン上で確認できるスコアレポートでも可 (注)応募するにあたって満たす必要のあるスコアの規定は無い ・パスポートをカラーで印刷したもの(顔写真があるページ) (注)日本国籍保持者でない場合は、在留カードの写しを添付すること ・証明写真(4cm×3cm/カラー) (注)裏面にパスポートネームを記載した上で、申請用紙1枚目の所定の欄に糊付けすること(別途添付は不要) <p>※選考の過程で必要と判断した場合、更なる書類の提出を求める場合がある</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・留学の内容が変更になった場合や交換留学への参加が不可能になった場合は、早急に TOMODACHI 住友商事奨学金事務局まで通知すること ・帰国後、留学先大学からの成績証明書を TOMODACHI 住友商事奨学金事務局まで提出すること ・留学前に実施する奨学金授与式、留学中に米州住友商事が実施する研修、帰国後に実施する留学報告会への参加を必須とする ・以下のいずれかに該当した場合は、内定の取り消し、または奨学金の支給を停止することがある。場合によっては既に支給した奨学金の返還を求めることがある <ol style="list-style-type: none"> 1: 1年間のアメリカの大学との交換留学への参加が不可能になった場合、もしくは途中で中止になった場合 2: 在籍大学または留学先大学から留学の継続が不適当と判断された場合 3: 本奨学金プログラムの関連行事・研修を無断で欠席した場合 4: 留学先での学業成績が不良(単位取得不可等)の場合 5: 法律や社会秩序に反する行為を行った場合 6: 予定より著しく早く帰国した場合 7: 虚偽の申告をしていることが判明した場合 8: 必要な書類が期日までに提出されなかった場合 9: 応募条件が満たせなくなった場合 10: 米日カウンシル、住友商事の名誉に傷つける行為を行った場合
<p>本奨学金プログラムに関するお問い合わせ先</p>	<p>TOMODACHI 住友商事奨学金事務局(公益財団法人米日カウンシルージャパン TOMODACHI イニシアチブ内)</p> <p>Tel: 03-4510-3400</p> <p>Email: tomodachisumitomo@usjapancouncil.org</p> <p>※お問い合わせの際は、在籍大学名、お名前、TOMODACHI 住友商事奨学金プログラムについての質問である旨をお知らせください</p> <p>※プログラムの詳細は以下の TOMODACHI イニシアチブのサイトでもご確認いただけます</p> <p>www.tomodachi.org</p>